

2013春季生活闘争

すべての労働者の処遇改善を追求し
 「働くことを軸とする
 安心社会」を実現しよう
 ~賃上げ・労働条件の改善で、デフレからの早期脱却を~



連合 <http://www.jtuc-rengo.or.jp>

2013 連合鳥取春季生活闘争 すべての労働者に 1% (目安) の賃上げを

2013春季生活闘争は「すべての働く者の労働条件・処遇改善」を掲げて4年目の取り組みとなります。

連合鳥取は、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、今春闘を「傷んだ雇用・労働条件の復元とすべての働く者のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)実現」に向けた取り組みとして位置づけ、街頭宣伝活動、総決起集会などの行動を実施し、中小・地場の底上げ・格差是正に向けてアピールしていきます。

連合鳥取の考える 要求書提出と集中的交渉・決着時期の設定

- 要求書提出 3月上旬まで、遅くとも3月末まで
- 集中交渉・決着 3月中旬～4月に交渉を集中、4月末までに決着

—2013春季生活闘争総決起集会に参加しよう—



昨年の総決起集会に結集した
 連合鳥取の仲間(左)と
 集会後のデモ行進(下)



今年も各会場とも集会終了後に
 デモ行進を実施します。

3月8日 国際女性デー 街頭行動

各地協の総決起集会会場で、女性委員会・青年委員会役員がポケットティッシュとチラシを配布し、国際女性デーの意義をアピールします。



昨年の国際女性デーの様子

3月8日は、国際女性デー

◆1957年3月8日、ニューヨークの製紙工場で働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8 国際女性デー」の起源です。
 ◆女性の活躍促進と、社会・企業・政治などあらゆるレベルへの夢は、経済・社会発展の鍵です。



東部地協	中部地協	西部地協
<input type="checkbox"/> 日時 3月6日(水) 18時～ <input type="checkbox"/> 場所 JR鳥取駅前 風紋広場	<input type="checkbox"/> 日時 3月5日(火) 18時30分～ <input type="checkbox"/> 場所 倉吉体育文化会館前	<input type="checkbox"/> 日時 3月8日(金) 18時30分～ <input type="checkbox"/> 場所 米子市文化ホール 広場

【連合鳥取独自目安】賃金カーブ維持分が算定困難な組合は、相当分3,800円以上プラス1%の要求をしよう!

2013春季生活闘争特集

◇春闘開始宣言集会で春闘スタート

2月2日(土)「まなびタウンとうはく(琴浦町)」に200人を超える参加者が集い、『連合鳥取2013春闘開始宣言集会』を開催しました。集会では、今次春闘方針を徹底すると共に意思結集をはかり、地域における闘争を展開することを確認しました。

冒頭、主催者を代表して、連合鳥取五十嵐美知義会長から「鳥取県下においては、昨年来からの企業の再編により、連合に集う多くの仲間の雇用に影響が出ている。厳しい環境下での春闘が予想されるが、非正規労働者も含めた賃上げ、労働条件の改善を交渉に乗せたうえで、1%を目安に配分を求め、全構成組織が今次春闘を闘っていきたい」と今春闘にかける決意をのべました。

続いて、JAM本部から宮本礼一書記長を講師として迎え、「2013春季生活闘争と日本経済の復活」と題し、現下の経済情勢を鑑み元気がでる春闘となることへの期待を込めた講演をいただきました。また、「連合鳥取2013春季生活闘争方針」の具体的な取り組みについて説明と「職場から始めよう運動」の取り組みについての報告を行うとともに、「闘争開始宣言」が力強く提案され、満場一意で採択されました。最後に五十嵐会長の音頭で、今次春闘勝利に向け参加者全員で『団結ガンバロー』を三唱し、2013春闘がスタートしました。



講師
宮本書記長(JAM)

◇労使協議による課題解決をめざして - 経営団体との意見交換会開催 -

2月5日(火)鳥取市の対翠閣において「鳥取県経営四団体との意見交換会」を開催しました。

連合鳥取は今春闘を「地域労働者の雇用と生活を守る運動」として「共通する運動課題を掲げ、全構成組織が参加する地域春闘を展開する」とし、「賃上げ・労働条件の改善の実現をめざし1%を目安に配分を求める」ことや、「非正規労働者の労働条件改善」などを求めていくことを訴えました。

経営側からは「企業が収益をあげてこそ、雇用の維持、賃上げができるということが基本である。政権交代によって経済情勢に明るい兆しが見えるものの、すぐの景気回復となるかどうか難しい。産業の空洞化等が進行する

中で、まずは雇用安定が重要課題であり、このことを労使共通認識とし、知恵を出し合い対処していく必要がある」といった建設的な意見がだされました。これに対し、連合鳥取側からは「鳥取県の経済状況は全国の中でも極めて厳しい状況にあり、とりわけ製造業においては深刻な事態に陥っていることは理解しているが、内需拡大のためにも賃金をあげて個人消費を促し、経済活性化をはからなければならない。デフレからの早期脱却のためにも、今年の春闘は極めて重要な闘争である」と述べました。

また、意見交換の場では、人財不足や人財教育の観点から、人は財産であるといった考えにたち「人を大切にすること」、さらには冷え込んでいる地域経済の活性化に向けた対応として、地販・地消を基本とした「地元買い物運動の展開」といった連合鳥取の方針と共有できる意見もありました。

現在の経済状況を憂いているばかりではなく、漠然とはしながらも元気・明るさをもち、労使双方が抱える課題解決に向け、労使が汗をかき、安心社会の実現をめざして取り組んでいくことを確認するなど、有意義な意見交換の場となりました。



経営団体役員

連合鳥取役員

◇すべての労働者が安心して働き続けるために

- 連合 非正規労働ホットライン(全国一斉労働相談ダイヤル)を実施 -

2月7日(木)、8日(金)、9日(土)の3日間、連合は2013春季生活闘争のスタートに合わせて「全国一斉労働相談ダイヤル」を行い、全国で1,109件の相談が寄せられました。

昨年は、労働者派遣法改正法案がようやく成立したほか、労働契約法の改正により有期労働契約に関するルールも変わるなど、非正規労働に関わる法改正が相次いで実現しました。この法改正について広く周知するとともに、労働組合の必要性を訴え、職場での困り事の解決に向け活動を展開しました。

連合鳥取も新聞広告や各地協役員の協力によるチラシ・ポケットティッシュ配布により事前PRを行ったところ、2件の労働相談がありました。



キャンペーン案内のティッシュ配布(中部)

◇各地協で単組代表者会議を開催 —春闘方針の具体的活動について理解を深める—

2013春季生活闘争方針の浸透と具体的活動について理解を深めるため、東部・中部・西部地協主催による「産別・単組代表者会議」を開催しました。

このうち、東部地協は、2月12日(火)「ホープスターとっとり」に構成単組40人と推薦支持議員団5人の参加のもと、『連合鳥取東部地協単組代表者会議』を開催しました。

冒頭、山根議長代行から「私たちの在住する鳥取県、とりわけ東部地域では、企業再編などの影響から取り巻く環境は極めて厳しい状況となっているが、地域労働者の雇用と生活を守る運動として共通する運動課題を掲げ、

全構成組織が参加する地域春闘を展開していかなければならない。今年も厳しい闘争が予想されるが、納得のいく結果となるよう全力で取り組もう」との決意が述べられました。続いて連合鳥取田中穂事務局長が「連合鳥取2013春季生活闘争方針」ならびに具体的な取り組みについて説明を行い、岸本事務局長が「職場から始めよう運動」の取り組みについて報告し、各地方連合の取り組みについて共通認識をはかりました。



東部地協単組代表者会議
2月12日(火)／ホープスターとっとり



中部地協単組代表者会議
2月13日(水)／県立倉吉体育文化会館



西部地協2013春季生活闘争勝利
産別・単組代表者会議
2月8日(金)／戸ヶ浜荘

◇「職場から始めよう運動」とは

— 同じ職場で共に働く仲間のため、家族のため、そして社会全体のために、私たちから行動を始めましょう —

※職場で、パート、有期、派遣で働く労働者の権利は守られていますか? 

まずはここから **チェック**!

- 労働条件の書面明示、契約更新時の説明
- 労働時間管理、時間外割増率の扱い
- 年次有給休暇の扱い
- 各種手当(通勤手当など)の扱い
- 健康診断、安全衛生、労災補償の扱い
- 福利厚生施設の利用

連合は、すべての働く者の処遇改善をめざして取り組んでいます。そのなかで、2010年から展開しているのが、「職場から始めよう運動」です。

この運動は、労働組合に集まる者として「同じ職場・地域で働く非正規労働者が抱えている問題を、みずからにつながる課題として捉え、その改善のために何ができるかを考え、具体的なアクションにつなげることを、それぞれの職場から始めていくこと」をめざすものです。

それぞれの職場での取り組みが、産業や社会全体に波及していくことで、すべての働く人の処遇改善・底上げ、希望と安心を持って働くことのできる社会づくりへとつながっていきます。また、この取り組みを通じて、同じ職場で働く者どうしのつながりを強めることで、労働組合活動の活性化にもつながります。

女性のパワーで男女平等参画社会を実現しよう!

— 2013連合中国ブロック女性会議に参加 —

2月9日(土)～10日(日)アークホテル広島(広島市)において、各県女性役員等30人の参加のもと「2013連合中国ブロック女性会議」が開催され、連合鳥取からも5人が参加しました。

連合広島石井会長のあいさつから始まり、連合本部高橋総合男女平等局副事務局長の参加もあり、「今、なぜ男女平等参画を考えていかなければならないか?」という問題提起のもと、「法的、制度においてこの10年間で整備されてきているとはいえ、現実的に私たちが働く職場で実質の平等になっているか?」という事が一番重要な課題として取り上げられました。

吸い上げられていない働く女性たちの生の声を、地道に、継続的に、社会へのメッセージとして発信し続けていかなければならない事を改めて考えさせられました。

各地方連合会女性委員会の色々な取り組み報告は、参考になる部分がたくさんあり、女性パワーと笑顔でとても良い交流が持てた2日間でした。



(寄稿 連合鳥取 女性委員会 副委員長 梶本靖子さん)

